

# 指宿市二反田川におけるシラスウナギの採捕状況

目的：周年採捕調査を行い、来遊状況を把握する。

漁場環境部 研究員 東條智仁

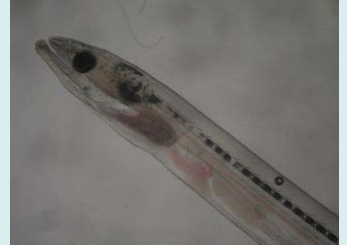
- 方法等
- ・調査手法…集魚灯・手すくい網採集 調査員2名
  - ・調査時期…原則として新月頃の2日間、日没後の満潮までの2時間
  - ・採捕個体の処理…全長、体重の測定、色素発達状況による発育段階の判定



調査場所：指宿市二反田川



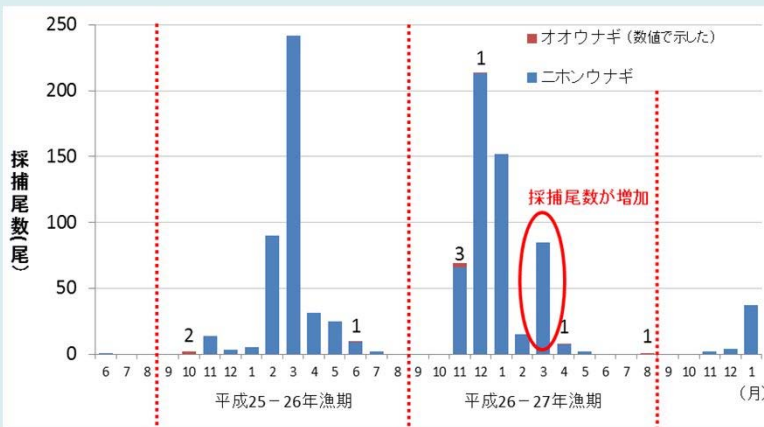
水面下約10cmの灯火（白熱電球100W相当）



ニホンウナギ

## 結果

採捕尾数のピークは、平成25-26年漁期が3月、平成26-27年漁期が12月であり、いずれの漁期も、シラスウナギ採捕期間内であった。  
全長、体重、肥満度については、平成26-27年漁期が前年漁期よりも大きかった。

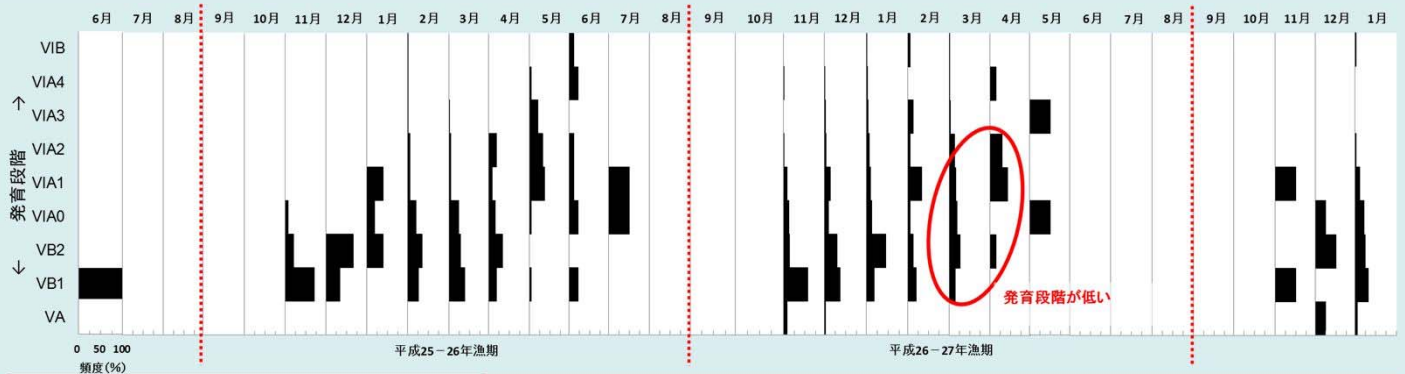


### 平成26-27年漁期について

- ・採捕尾数が12月以降は減少していたが、3月に再び増加した。
- ・3月に採捕された個体は発育段階が低いことから、新たな来遊群と思われた。

### 各漁期におけるニホンウナギシラス測定結果(平均)

漁期	採捕尾数	全長(mm)	体重(g)	肥満度
平成25-26年	421	57.54	0.115	0.603
平成26-27年	540	58.90	0.145	0.700
総計	961	58.29	0.132	0.657



### シラスウナギの発育段階について

発育段階は体表及び体内における色素の発達具合から判定される。



発育段階 VA



発育段階 VIA0



発育段階 VIA3



発育段階 VIB

※本研究は水産庁委託である「鰻生息状況等緊急調査事業(H25, H26)」, 「鰻来遊・生息調査事業(H27)」で実施した